

富山県美術館 コレクション展Ⅴの開催について

富山県美術館では、2月20日(土)から5月18日(火)まで、2階の展示室1において「コレクション展Ⅴ」を開催していますので、ご案内いたします。



展示室1 展示風景

1. 概要

場所：富山県美術館 2階 展示室1

会期：令和3年2月20日（土）～令和3年5月18日（火）

休館日：毎週水曜、5月6日（木）、ただし4月29日（木・祝）～5月5日（水・祝）は開館

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel：076-431-2711 fax：076-431-2712
メール：abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当：広報に関して：川浦（広報）
展示会に関して：八木（学芸課）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



Press Release

令和3年2月22日(月)

2. 展示内容と見どころ

小テーマ：【トリック・錯覚】【色：青】【風景】【ひと・ひとがた】【しぶき】 展示作品38点

★見どころ

5つの小テーマによって、20世紀美術のハイライトをご紹介します。

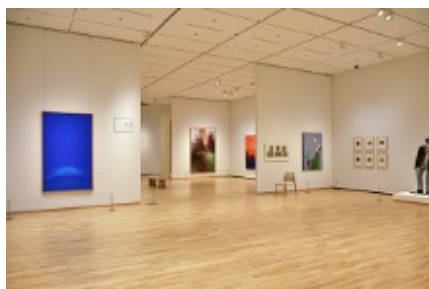
【トリック・錯覚】では、写真を使って自然と描かれた色彩が同化した風景を作り上げる小本章の作品や、絵具のタッチが浮き上がって見える星憲司の作品などを紹介します。

【色：青】では、ルーチョ・フォンタナ《空間概念—期待》、前田常作《青シリーズ・青(No.16)》など、青を基調とした抽象作品を中心に取り上げました。

【風景】では、1985年に来館されたクリスト&ジャンヌ=クロードの作品とともに来館時の芳名もご覧いただけます。

【ひと・ひとがた】では、大竹伸朗の紙による立体作品《男》や、映画「ロボコップ」にも登場するフランシス・ベーコンの版画作品《アイスキュロスの悲劇》などが登場します。

【しぶき】では、1991年に公開制作された今井俊満《鯉のぼり》と、ハンス・ハルトウंकの晩年の作品《T1989-U12》の大作2点が見る者を圧倒します。



※出品作品の詳細については、別添の作品リストをご参照ください。

3. 観覧料

- ・コレクション展 一般 300 円 (240 円) ※ () 内は 20 名以上の団体料金

※企画展開催時は、企画展観覧券で観覧可能

- ・次の方は、コレクション展の観覧無料

①小・中・高校生と大学生、70 歳以上の方

②学校教育、社会教育活動としての児童・生徒の引率者（観覧料免除申請書が必要です）

③各種手帳をお持ちの障がい者の方（付き添いは手帳をお持ちの方1人につき1名まで無料）

※詳しくは、当館ホームページをご覧ください (<https://tad-toyama.jp/>)。

※土日祝日は、美術館の駐車場は混雑が予想されます。お越しの際は、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

コレクション展について

富山県美術館のコレクション展では、前身の富山県立近代美術館から現在までの収蔵作品を展示しています。年4回程度、さまざまなテーマによる展示替えを行い、多彩なコレクションを紹介。当館2階の展示室1では絵画・彫刻を中心とし、3階展示室5・6ではポスターや椅子、富山県ゆかりの瀧口修造やシモン・ゴールドベルクのコレクションを展示しています。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当: 広報に関して: 川浦 (広報)
展示会に関して: 八木 (学芸課)

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US

